

教育委員会会議録（4月定例会）

<u>日 時</u>	平成29年4月27日（木） 午後3時から午後3時25分まで
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室
<u>出席委員</u>	教育長 教育長職務代理者 委 員 委 員 中山 俊恵 森嶋 鎮一郎 朝日 華子 中村 雅利
<u>欠席委員</u>	委 員 上村 由美
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学校施設課課長（新調理場建設担当） 学務課長 学務課課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 指導課長 指導課課長 郷土博物館長 記念図書館長（兼）視聴覚センター所長 教育研究所長 官田調理場長 企画員 総務課副参事（兼）庶務係長 総務課課長補佐（兼）計画財務係長 総務課主幹 総務課主幹 鈴木 透 清水 透 大平 利彦 佐藤 行男 内山 信弘 木下 俊雄 飯塚 優 志藤 忠博 折笠 良平 佐川 章子 助川 正則 鈴木 士郎 勝間田 忠彦 荒川 敏明 佐藤 政臣 中村 大介 酒地 康彦 吉野 成実 宇佐美 亮

議 事

報 告

報告第4号 教育委員会3月定例会の会議録について

議 案

議案第10号 日立市教育行政点検評価委員の委嘱について

その他

- (1) 平成29年度日立市奨学生の選定結果について
- (2) 平成29年度指導主事等について
- (3) 「どの子どもわかる楽しい授業づくりハンドブッケー国語編ー」について
- (4) 教育委員会関連行事等について
 - ア 第17回日立さくらロードレースの開催結果について
 - イ 池の川さくらアリーナの利用状況について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時

教 育 長

それでは、只今から4月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、上村委員が都合により欠席となります。
また、傍聴者はありません。

2 報 告

報 告 第 4 号

教育委員会3月定例会の会議録について

教 育 長

それでは、まず、報告第4号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 案

議 案 第 1 0 号

日立市教育行政点検評価委員の委嘱について

教 育 長

それでは次に、議事に移ります。
議案第10号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長

日立市教育行政点検評価委員は、平成29年4月30日をもって任期が満了となりますので、新たに委員を委嘱するものです。

委員の任期は、「日立市教育行政点検評価委員規程」において、2年と規定しておりますことから、平成29年5月1日から、平成31年4月30日までの2年間とします。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会がその権限の属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、委員を置くものです。

委員の数は、点検評価委員規程において、「3人以内」と規定されておりますが、評価の客観性を確保する観点から、教育行政に造

詣が深く、様々な分野で活躍されている外部の有識者である3人を選定しました。

酒井 純 氏は、元学校長であり、また幼稚園長の経験もあることから、学校教育全般について、専門的な視点から評価をいただけるものと考えております。

中川 雅子 氏は、現在、社会教育委員を務めており、社会教育や生涯学習の分野に特に見識が高いことから、社会教育・生涯学習の視点から評価をいただけるものと考えております。

小野 智久 氏は、日立市立小・中学校PTA連合会会長を務めておりますので、保護者の視点や、学校と地域との連携などの視点から評価をいただけるものと考えております。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 その他

(1) 平成29年度日立市奨学生の選定結果について

教 育 長 続きますして、その他に移ります。
その他(1)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 平成29年度日立市奨学生の選定結果について、説明します。
平成29年度の奨学生については、本年1月上旬から広報を始め、2月の1か月間を受付期間として、例年どおり高校6人、大学等30人について募集を行いました。
その結果、高校は1人、大学等は14人の応募があり、3月14日に面接を実施し、17日に選考委員会を開催して、応募のあった15人全員を奨学生として選定しました。
しかし、その後、大学等で選考した1人から、「大学が不合格となったことから、辞退する」との申し出があったことから、最終的に今年度の奨学生は、高校1人、大学等13人、合計14人となったものです。
なお、昨年度は、高校1人、大学等22人、合計23人の奨学生を選定していますので、本年度は、9人減ったというものです。

委 員 今年度から始まる日立市奨学金に関する補助制度について、どのような特徴がありますか。

総 務 課 長 市内定住促進を目的として、奨学生が学校を卒業後に日立市に住んだ場合に、返還金の一部を補助する制度です。
10年間日立市に住み続けた場合には、返還金の半分を補助する

というのですが、その特徴としては、ハローワーク日立と連携を図り、市の奨学金を借りている全ての在学生や、今年度から奨学金の返還を開始した方に対して、市内の求人情報を提供し、市内への就職を働きかけるといことです。

これは、新卒者が3年以内に離職してしまう、いわゆる離職率が、大学で32%、短大で42%と高く、併せて、ここ最近の市内の有効求人倍率が高いということを踏まえて、積極的に求人情報を提供し、市内定住を促すというものです。

(2) 平成29年度指導主事等について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 平成29年度に日立市教育委員会事務局等に配属となった指導主事等について、説明します。

まず、学務課については、昨年度まで指導課に配属されていた高島 幸浩が、指導主事併係長となりました。

次に、指導課についてです。

指導課長には、鹿嶋市立高松小学校から折笠 良平が、指導主事併係長には、北茨城市常北中学校から多田 賢一が、指導主事には、櫛形小学校から正木 啓道、十王中学校から柴田 雅明、大みか小学校から戸邊 政光が、それぞれ新たに配属となりました。

また、ニュージーランドのタウランガから、ニコール・マーティンが新たにALTとして就任しています。

続いて、教育研究所の指導主事には、日立特別支援学校から中村 香里が、新たに配属となりました。

教育委員会指導員については、十王中学校の坏 淳子と台原中学校の田丸 甫の2人が新任となります。

最後に、生涯学習課の社会教育主事には、田尻小学校から鴨志田 誠が、新たに配属となりました。

(3) 「どの子どもわかる楽しい授業づくりハンドブックー国語編ー」について

教 育 長 それでは次に、その他(3)について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長 「どの子どもわかる楽しい授業づくりハンドブックー国語編ー」について、説明します。

このハンドブックは、平成27年度に作成した「どの子どもわかる

楽しい授業づくりハンドブックー算数・数学編ー」の続編になります。

ベテラン教職員の大量退職や、若手教職員の急激な増加に伴い、ベテラン教職員が積み上げてきた授業づくりにおけるノウハウなどを、若手職員に伝達したいという願いから、作成したものです。

ハンドブックを教職員が活用することにより、教室にいるすべての子どもたちにとって、楽しくて分かりやすい授業が行われ、若い教職員の一助ともなることにつながればと考え、市立学校の全教職員約1,000人に配布しました。

ハンドブック作成のポイントは、4点あります。

1点目としては、「話す・聞く・書く・読む」という学習の基本とされる4つの言語活動を中心にまとめていることです。

2点目としては、内容をシート形式でまとめることで、一目で理解し、すぐに授業に取り入れられるようにしています。

3点目としては、写真やイラストを多く取り入れ、視覚的に理解しやすいようにまとめました。

4点目としては、これらの内容を授業に生かし、子どもたちに「分かった」という達成感を体験させることで、学習意欲の向上につながるように、工夫して作成しています。

このハンドブックを活用し、他市町村にはない「ひたちらしい」分かりやすい授業を全校で展開していけるように努めていきます。

なお、今年度は、学校のニーズ、実態等を踏まえ、必要感の高いテーマを基に、ハンドブックを作成していきたいと考えています。

委員 大変分かりやすく、良いハンドブックだと思います。

若い教職員が増えている中で、本来であれば、職場の先輩が指導できれば良いのですが、実際には多忙により難しいと思います。

そのため、若い教職員にとっては、特に参考になるのではないのでしょうか。

是非、このハンドブックが活用されるように、学校に訪問した際には十分に説明していただければと思います。

作成に当たっては、教職員が研究員として参画しているようですが、作成のための時間の確保が大変であったのではないかと思います。そのことに対して、何か配慮をしているのでしょうか。

また、これまで、算数・数学編、国語編を作成してきましたが、今後はどのようなものを作成していくのでしょうか。

教育研究所長 研究員は、校長から推薦いただいた、国語の教科について日頃から研究し、熱心である教職員です。

作成に当たっては、年6回、それぞれ午後の時間帯に、研究協議会を開催しました。

協議会以外にも、宿題があったり、自主的に授業実践し、検証されたりした研究員もいます。

そういった研究員の負担軽減のため、編集などについては、教育研究所の職員が担っています。

今年度は、研究員の負担軽減にさらに留意し、作成していきたいと思えます。

また、今年度のテーマについてですが、教科に関するテーマが2年続いていますので、今回は、教職員の評価、活用状況などを踏まえ、学校現場が抱える問題を調査、把握した上で、テーマを決定したいと考えています。

近年、保護者との関わりが難しくなっており、それに伴って児童生徒との関わりも難しくなっています。その問題に対応していくためには、学校の力だけではなく、関係機関との連携も非常に重要です。

現在は、そういったことをテーマとすることも考えています。

(4) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 第17回日立さくらロードレースの開催結果について

スポーツ振興課長 第17回日立さくらロードレースの開催結果について、説明します。

4月9日に開催されたさくらロードレースですが、気温が12度と低く、雨が降る中での開催となりました。

参加申込者数は、前回より約1,000人多くなりましたが、完走者数は、約1,000人少なくなり、完走者の割合も、今回78%で前回から11ポイントのマイナスとなりました。

各部門の優勝者についてですが、25部門のうち、7部門で日立市在住の方が優勝されました。

なお、2.2キロ中学女子の部で優勝された高橋実里さんは、小学5年生のときに第13回大会の1.8キロ小学女子5、6年の部で優勝してから今回まで、5年連続で優勝しています。

特別賞については、最高齢者の塩沢さんにゴールド賞、北海道札幌市の菅原さんと、沖縄県那覇市の長堂さんにはるばる賞が、それぞれ贈られました。

イ 池の川さくらアリーナの利用状況について

スポーツ振興課長 池の川さくらアリーナの利用状況について、説明します。

利用者数ですが、2月と3月で27,700人の利用がありました。

改築前の旧体育館の平成22年度の利用者数が、月11,000人でしたので、比較しますと、1.35倍の利用者数となっています。

なお、新たに設けたトレーニングルームの会員登録数は、3月末現在で250人です。

また、今後のさくらアリーナのイベントについて、2件案内します。

1件目は、石川佳純選手が所属する、日立化成卓球部の対抗戦です。

石川選手も出場予定で、対戦相手は、三重県伊賀市のエクセディです。

日時は、5月10日（水）午後5時30分開始です。会場への入場は、午後5時からとなっています。

入場は無料ですので、直接会場で地元の日立化成卓球部の応援をお願いします。

2件目は、大相撲巡業です。期日は、8月10日（木）です。

日立市での開催は37年ぶりで、5月上旬から入場券を販売する予定と聞いています。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 平成29年6月1日（木）午後1時30分から、日立市教育プラザギャラリーBで開催予定です。

6 閉 会 午後3時25分

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会4月定例会を終了します。

以 上